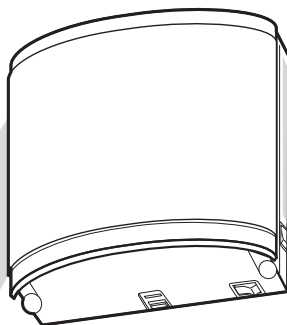
取扱説明書

お客さま用

強制給気ファン 常時換気用 強弱型

商品名　VF-Q08E1GL-F1

このたびは強制給気ファンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を必ずよく読み、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

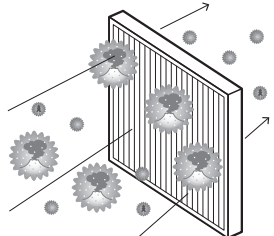
□この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる場所に、必ず保管しておいてください。
□この取扱説明書を紛失された場合や、ご不明な点があれば、お買い求めの販売事業者または、当社にお問い合わせください。

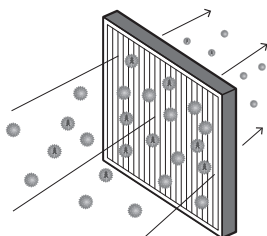
連絡先　マックス カスタマーセンター　0120-011-408

本製品は『PM2.5 対策フィルター』を搭載しています。

PM2.5 とは、大気中に浮遊する直径 2.5 μm以下（1 μm＝1000 分の 1 mm）の微小粒子状物質の総称です。

『PM2.5 対策フィルター』は、消耗品です。

当社従来品（高性能）フィルター

10 μm 以上の粒子
約 98% 以上除去*2

PM2.5 対策フィルター

2 μm 以上の粒子
約 95% 以上除去*2

交換の目安は **約 2 年*1** となります。
＊1 使用環境・使用条件により異なります。

本製品を初めて運転するときや、PM2.5 対策フィルターを交換したときは、下表に使用開始日を記入してください。

PM2.5 対策フィルター使用開始日

年	月	日 使用開始
年	月	日 使用開始
年	月	日 使用開始
年	月	日 使用開始
年	月	日 使用開始

＊2 フィルターの除去性能で、部屋全体の除去性能とは異なります。
また、それぞれのフィルターにより測定方法は異なります。高性能フィルター：質量法
PM2.5 対策フィルター：計数法

『PM2.5 対策フィルター』のご用命は
住環境店舗 MAX　0120-631-722

住環境店舗 MAX

http://www.jyukan-shop-max.com/

安全上のご注意（必ずお守りください）

○ご使用前に、この事項を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
○この項に示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
○ここでの『人』とは、使用者のみでなく、ご家族、来客者および購入者から機器を譲渡された人も含みます。

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

区分	内容
⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注意	人が軽傷を負う可能性、及び物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

図記号	意味
⃠	一般禁止
❗	必ず行うこと

⚠警告

使用禁止

■交流100V以外では使用しない
火災・感電・故障のおそれがあります。

■ガス漏れに気付いたときは、スイッチの操作をしない
爆発や引火の恐れがあります。窓がある場合は窓を開けて空気を入れ換えてください。

■運転中に機器から異常音や異臭が感じられたら、使用を中止し、分電盤のブレーカーを切る
異常のまま運転を続けると火災や感電のおそれがあります。
※原因がわからない場合は、マックスカスタマーセンターまでご連絡ください。

接触禁止

■羽根の中に指や物を入れない
感電、けが、故障するおそれがあります。

ブレーカーを切る

■交換作業、お手入れは分電盤のブレーカーを切ってから行う（ぬれた手で入／切しない）
感電のおそれがあります。

必ず守る

■取付工事並びに電気工事は、お買い上げの販売事業者、または専門業者に依頼する
取付けが不完全な場合は、火災、感電や機器の落下によるけがのおそれがあります。

分解・修理禁止

■改造は行わない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理は行わない 火災・感電・故障のおそれがあります。
修理はマックスカスタマーセンターまでご連絡ください。

禁　止

■水につけたり、水をかけない
感電、故障するおそれがあります。

⚠注意

使用禁止

■フィルターをはずしたまま運転をしない
故障のおそれがあります。

ブレーカーを切る

■長時間使用しない場合は、分電盤のブレーカーを切る
火災、漏電のおそれがあります。

■雷が発生しているときは、すぐに使用を中止し、分電盤のブレーカーを切る　故障のおそれがあります。

※雷が遠ざかったことを確認してから分電盤のブレーカーを入れてください。

必ず守る

■フィルター交換の目安は約2年
（使用環境・使用条件により異なります）
ただし、ひどく汚れが目立つ場合は交換する
定期的に交換しないと性能が低下するおそれがあります。

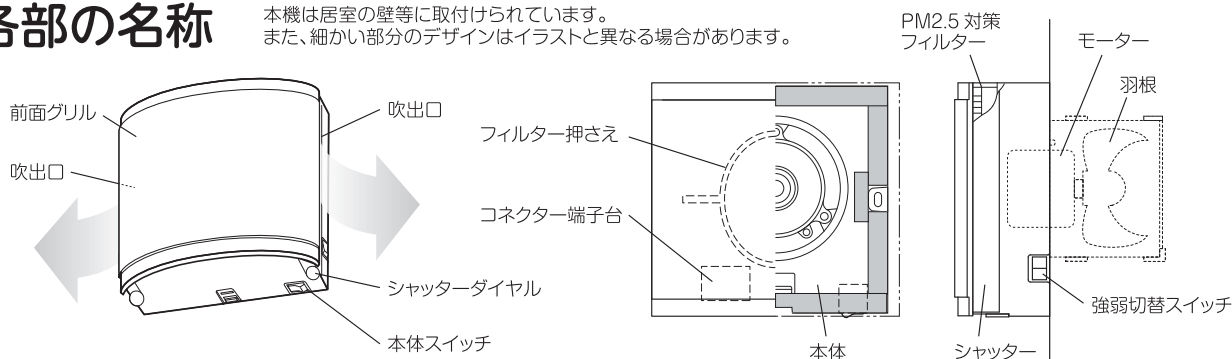
■フィルターのお手入れは定期的に（1ヶ月に1回程度）必ず行う
フィルターが目詰まりすると、運転効率の低下や故障や運転音増大のおそれがあります。

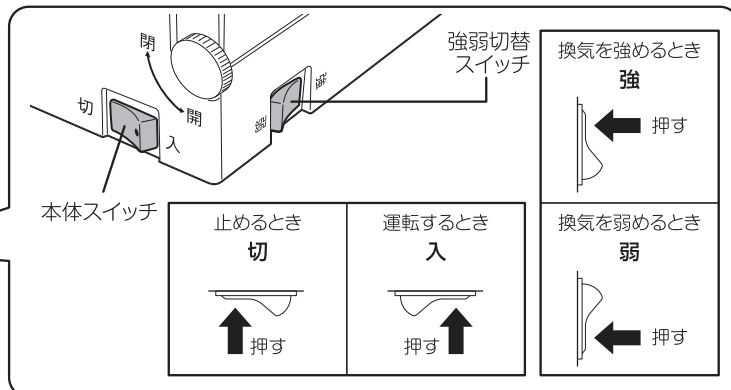
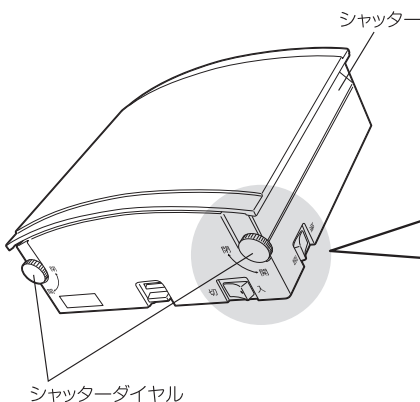
■お手入れの際は、必ず手袋を着用する　けがをするおそれがあります。

■お手入れ後のグリルの取付けは確実に行う　落下により、けがをするおそれがあります。

各部の名称

本機は居室の壁等に取付けられています。
また、細かい部分のデザインはイラストと異なる場合があります。

使いかた

⚠**注意**　吹出口をふさぐような障害物を置かない

本製品は、常時換気（給気用）専用となります。
運転異常や給気過多などの特別な場合を除き、常時、本体スイッチを「入」でご使用ください。

台風など外風の侵入がはげしいとき（給気過多の場合）は、本体スイッチを「切」にしてシャッターを閉じてください。
その後、使用するときは必ず左右のシャッターを開いた状態にしてください。

メモ

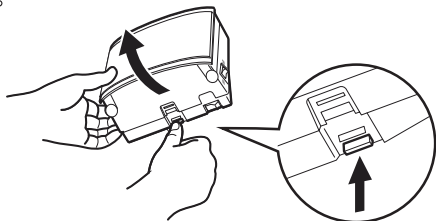
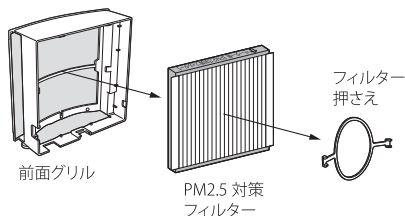
屋内外の温度差によっては、本体の表面に結露が発生し、結露水が滴下する恐れがあります。本体に水滴が付着したら、乾いた布でふき取ってください。

お手入れのしかた

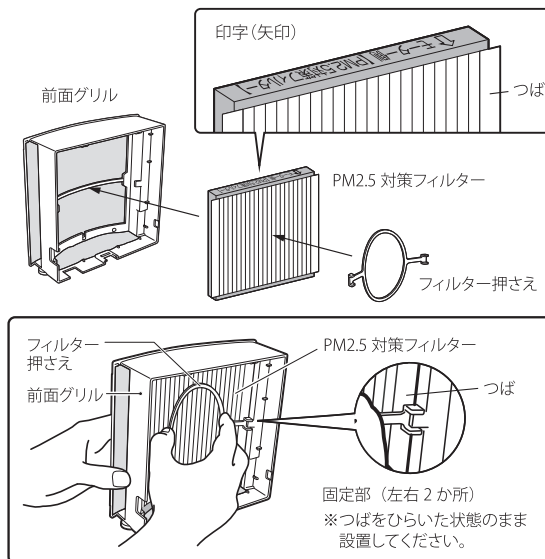
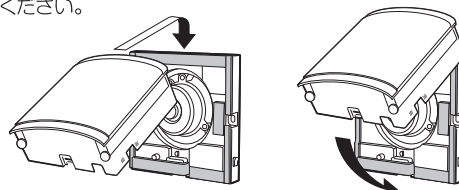
フィルターのお手入れは定期的に（1ヶ月に1回程度）必ず行ってください。
フィルターが目詰まりすると、運転効率の低下や故障や運転音増大のおそれがあります。

⚠警告 交換作業は分電盤のブレーカーを切ってから行う（ぬれた手で入／切しない） 感電のおそれがあります。

⚠注意
■お手入れの際は、必ず手袋を着用する けがをするおそれがあります。
■お手入れ後のグリルの取付けは確実に行う 落下により、けがをするおそれがあります。
■フィルター交換の目安は約2年（使用環境・使用条件により異なります）
ただし、ひどく汚れが目立つ場合は交換する 定期的に交換しないと性能が低下するおそれがあります。

① 前面グリル下部の突起を押し、下方を引上げて前面グリルを外します。

② フィルター押さえを曲げながら外し、前面グリル内部からPM2.5対策フィルターを取外してください。
フィルターにほこりや虫が付いている場合があります。
部屋に落ちない様、下に新聞紙等でうけ、ゆっくり外してください。

③ 表面に虫や埃がある場合には逆さまにして落とすか、やわらかいブラシ等で表面を撫でるように落としてください。無理な力を加えると破損や機能低下のおそれがあります。著しく汚れていると感じたらPM2.5対策フィルターを交換してください。

PM2.5 対策フィルターは**消耗品**です。
掃除機や水洗いによるお手入れをしないでください。
破損するおそれがあります。
交換の目安は約２年（使用環境・使用条件により異なります）です。また、定期的に交換しないと性能が低下するおそれがあります。

④ PM2.5対策フィルターを取付けます。
PM2.5対策フィルターは取付ける向きがあります。図のようにモーター側の記載がある方をモーター側（本体側）の方向に向けて入れてください。
前面グリルに新しいPM2.5対策フィルターを入れ、フィルター押さえを曲げながらはめこみ、固定（左右2か所）してください。

⑤ 前面グリルの上部を本体上部に引っかけ、下部を押してはめ込んでください。

故障かな?と思われたら

故障と思われたら、症状に応じて次のことを点検・処置してください。

症 状	点検していただきたいこと	処置方法
スイッチを入れても動かない。	停電していませんか?	復帰した後、自動的に運転を開始します。
	分電盤のブレーカーが切れていませんか?	分電盤のブレーカーを入れてください。
運転時、異常な音や振動がする。	フィルターがはずれかかっていませんか?	フィルターをしっかりと取り付けてください。
吹出口から出る風が少なくなった。	フィルターが目詰まりしていませんか?	フィルターを清掃または、交換してください。
本体から水が滴下する。	台風等の強風により、雨がダクトより吹き込んできた場合や、外気温度が低く室内の温度湿度が高い場合、本体から水が滴下する場合がありますが故障ではありません。（結露や凍結については、室内外の環境条件により、発生状況が異なります。）	

以上のことをお調べになっても、なお異常があるときや、ご不明の点がございましたらマックス カスタマーセンター（フリーダイヤル） 0120-011-408 までご連絡ください。不完全な処置は事故の原因となりますので、修理は絶対にお客様自身でなさらないでください。

アフターサービスについて

修 理 修理を依頼される前に、「故障かな?と思われたら」をもう一度ご確認ください。

修理のお申し込み

確認後も異常があるとき、またはご不明な点がある場合は、自分で修理せずに、マックス カスタマーセンターへフリーダイヤルまたはインターネットでご連絡ください。なお、ご連絡の際は下記事項をお知らせください。

マックス カスタマーセンター 0120-011-408

ホームページ ***http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/repair.html***

1. 名　　称：強制給気ファン
2. 商品名：VF-Q08E1GL-F1
3. 施工年月日
4. 故障または異常の内容（できるだけ詳しくお知らせください）
5. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しくお知らせください）

修理について

お買い求めの販売店、または当社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、有償で修理をお受けいたします。

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。保有期間後の修理は部品がなく、できない場合がありますので、ご了承ください。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

標準修理料金

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理させていただきます。
標準修理料金は『技術料』+『出張料』+『部品代』で構成されています。

仕 様

品　番	定格電圧	定格消費電力(W)		風量(m^3/h)		騒音(dB)		質量(kg)
		強	弱	強	弱	強	弱	
VF-Q08E1GL-F1	AC100V 50/60Hz	1.9/2.0	1.7/1.7	14/15	9/9	21/22	16/16	0.9

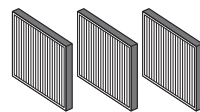
別売り部品

交換用フィルターのご用命は下記で受け付けております。

住環境店舗 MAX 0120-631-722

ネットからも受付可能！

http://www.jyukan-shop-max.com/

携帯、スマホでアクセス→
名　　称	PM2.5対策フィルター
商品名	VQ104SHG（3マイイリ）
商品番号	JK90039
入　　数	3

当社従来品（高性能）フィルター（VQ101HG）もご使用できます。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右記の内容表示を本体に行っています。

> 【設計上の標準使用期間】15年
> 設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがあります。

■設計上の標準使用期間とは

運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用できる標準的な期間です。設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものでもありません。

■経年劣化とは

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件 日本工業規格JIS_C_9921-2による

環境条件	電　　圧	単相100V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温　　度	20℃	JIS C9603参照
	湿　　度	65%	
	設　　置	標準設置	機器の施工説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 a) 台　所　2410時間/年 居　室　2193時間/年 トイレ　2614時間/年 浴　室　1671時間/年	

注記　温度20°C、湿度65%は、JIS C 9603の試験状態を参考としている。
注　a) 常時換気（24時間連続換気）のものは、8760時間/年とする。

愛情点検

長年ご使用の換気扇の点検を！

このような症状はありませんか？

- ●運転開始後回転音が不規則に聞こえたり回転しない。
- ●運転中に異常音がしたり振動がある。
- ●異臭がする。
- ●その他、異常を感じる。

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、運転を停止し、電源を切り、必ずお買い上げの販売事業者または取付店に点検・修理を依頼してください。

修理のご依頼は
マックスエンジニアリング&サービスファクトリー（株）へ
0120-011-408

マックス カスタマーセンター
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町6-2 TEL 03-5623-4616 FAX 03-3668-8127
マックス本社ビル別館5F
インターネットでの修理のご依頼は ***http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/repair.html***

製品についてのお問い合わせは マックス（株）へ
0120-228-428

住環境機器お客さま相談窓口
〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6 TEL 03-3669-8112 FAX 03-3669-8135
http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/support.html